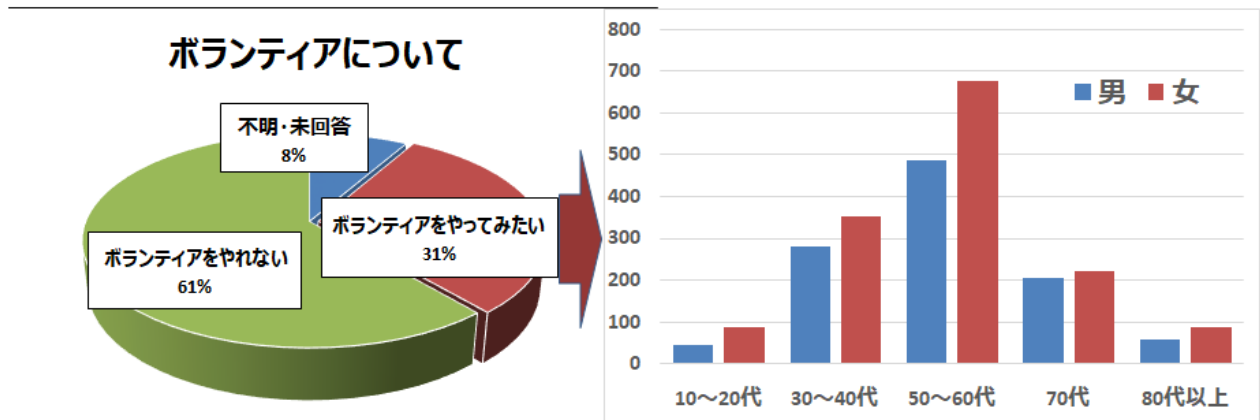


アンケート速報5 ボランティアに参加したい人は？

アンケートでは、皆様のボランティアへの参加の意思をお尋ねしています。

「ぜひやってみたい」または「機会と時間があればやってみたい」とお答えになった方は、31%にのぼり、統計学的に推定した六郷地区の実数（誤差を含みます）としてみますと、約2,500人もいらっしゃいます。



さらに、これを男女別・年代別に分析してみますと、図に示すように参加意欲を示された方は女性が多いのですが、10代から80代まで幅広い年代の方が機会があればボランティアに参加したいと思っております。50～60代の女性では680人もの方がボランティアをやってみたいと意思表示されたのは心強い限りです。

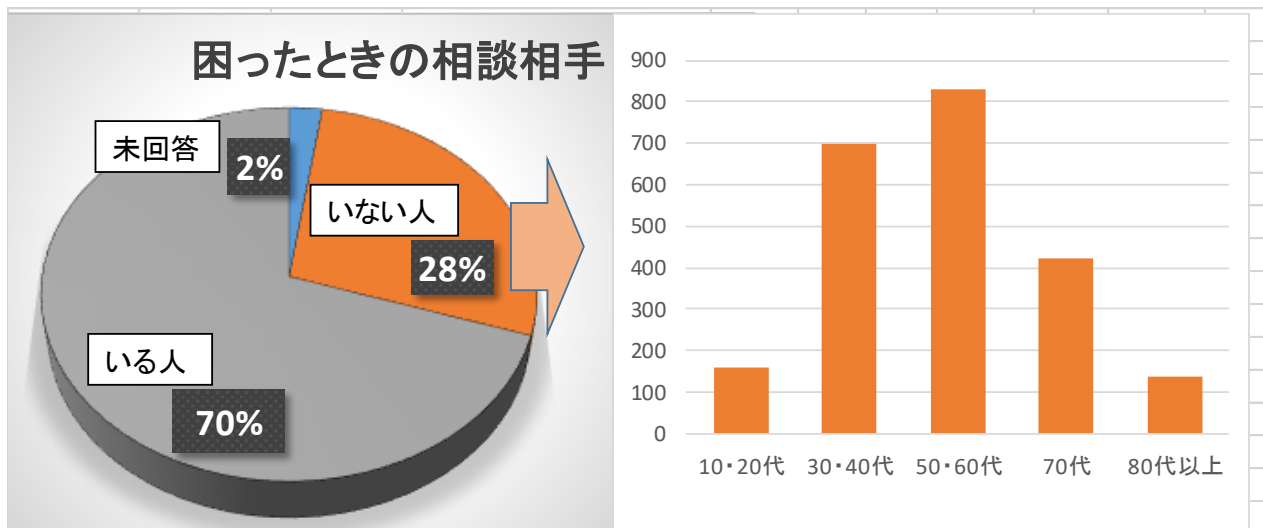
コミ協では、この結果を考慮して、ボランティアに参加していただけるいろいろ有意義な企画をしていきたいと思っておりますので、その時にはぜひご参加くださるようお願いいたします。

アンケート速報4 困ったときの相談相手は？

お住いの地域に、困った時に気軽に相談したり、助け合える親しい知り合いはいますか？という設問に対して、今回のアンケートでは、なんと28%もの人が「相談相手がない」と答えられました。

この28%という数字は、統計学的に推定した六郷地区の実数（誤差を含みます）としてみますと、2,284人となります。また、年代別では、30～40代、50～60代の社会の中堅層となるべき年代がそれぞれ31%、37%を占め、推定実数でも、700人、829人となり、多くの中堅層の方が困ったときに相談相手がないことがわかりました。さらに、困ったときに相談したい相手として、31% 700人相当の人が誰に相談したらよいか未回答でした。

このアンケートは今回が初めてですので、これを契機に「自分は困ったときに相談相手となる人をこの居住地区に持っていないのだ」と気が付かれることを願っています。



アンケート速報3 買い物困難者をめぐる調査結果

高齢化のすすむ現代社会で、毎日の生活用品の買い物が困難になってきたという声をよく聞きます。交通機関のない地域で、車も使えなくなってきたような高齢者にとって、これは死活問題です。このような人を「買い物弱者」と呼びますが、その実態についても今回調査してみました。統計学的に推定した、全体の実数（誤差を含みます）を紹介してみましよう。

今、買い物に困難を感じている人 六郷地区全体で 457 人（内 70 代以上は 295 人）

5 年 10 年後には大変になるかも？という人 2931 人（内 70 代以上は 1104 人）

50～60 代で、5 年から 10 年後には買い物が困難になるかも？という人 1370 人

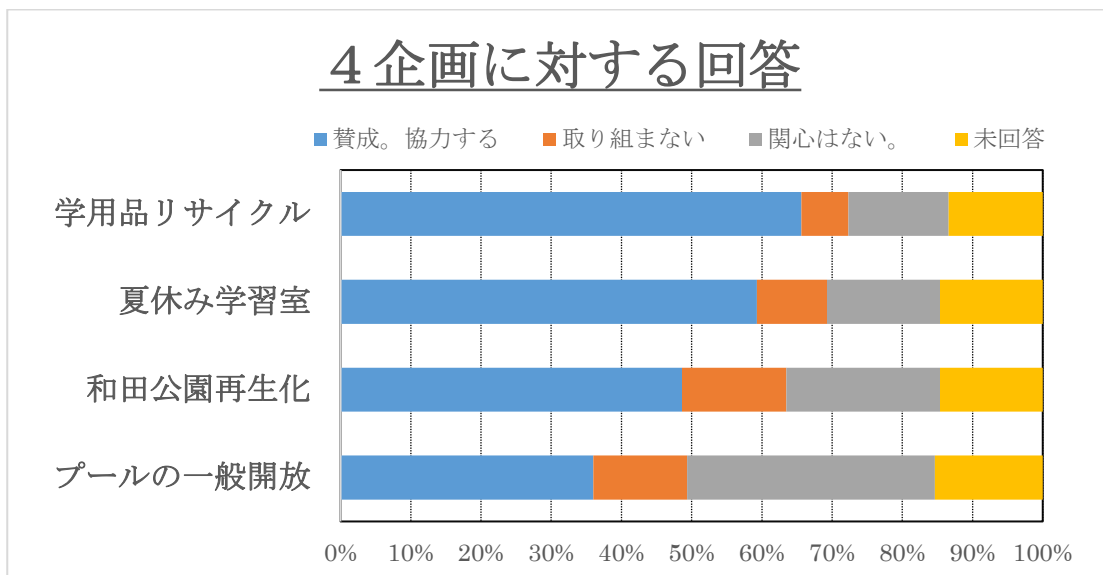
さらに、身のまわりでも買い物に困難を感じている人がいると聞いた事がある人は、上本所団地、雇用促進1、宮下、虹の丘、上本所、日ノ出町では地区人口の 40%をこえて、全体でも 36%に達しています。

これらの結果だけでも、「買い物弱者」という問題が目の前まで迫ってきている事がわかります。どうしたらいいか。コミ協では、皆さんの知恵を集めてこのような問題解決の道を探ってまいります。

「まちづくり」アンケート 第2報

年末に一報した六郷地区「まちづくり」アンケートの分析は順調に進んでおります。このアンケート実施に先立って、青少年健全育成会などの力も借りて、4回のワークショップを行い、そこで出た4つの企画を今後実施に持っていかどうかを設問に入れました。その設問とは、1. 学用品や制服のリサイクルを行うこと、2. 夏休みに中・小 学校生徒を対象に学習塾を開くこと、3. しばらく前に撤去されていた和田公園のアスレチック設備を再構築すること、それに4、夏休み中に学校のプールを一般開放することの4つの企画です。

4 企画に対する回答



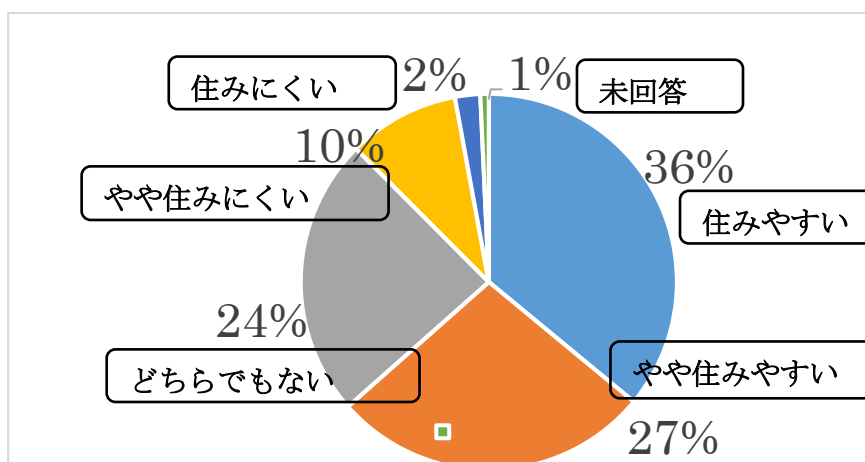
その結果はグラフのとおりですので、コミ協としては「学用品リサイクル」と「夏休み学習塾」を平成 30 年度中に実施に持っていきけるようにしたいと思っており、予算措置を講じる準備を始めております。

「まちづくり」に関する住民アンケートへのご協力

ありがとうございました 第 1 報

住民の皆様が毎日の暮らしでどのような課題を感じているか、将来に向けてより快適で住みよい地区にしていくうえでどのようなになったらよいかを知る目的で、11月から行っていた住民アンケートが12月15日に締め切られました。無作為で選ばれた対象者の53%からアンケートを回収でき、ご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。

これから分析に着手いたしますが、非常に興味深い結果が得られるものと期待しています。たとえば、六郷地区の住みよさをお尋ねしたところ、63%の方が「住みやすい」、「やや住みやすい」とお答えになり、新聞などでも発表される菊川市の住みやすさと同じような結果が得られています。



全体のアンケート結果の公開は5月を目標にしていますが、興味深い結果に関しては、判明し次第ご報告していきたいと思っております。ご期待ください。あらためて、このアンケートのご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。